塩ビ管挿入機　取扱説明書

■ はじめに

塩ビ管挿入機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、十分理解した上で、正しくお使いください。

品　名	品　番
塩ビ管挿入機100	PIS-150
塩ビ管挿入機200	PIS-200

この取扱説明書は、塩ビ管挿入機を安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項が、記載されております。

お読みになった後は、塩ビ管挿入機をご使用される方が、いつでもお読みになれるように保管しておいてください。

わかり易くするための表示と図記号の意味は、次のようになっていますので内容をよく理解してからお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的傷害の発生が想定される内容を示しております。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも、安全に関する重要な事項が記載されていますので、必ずお守りください。

■ 使用目的

①硬質塩化ビニル管を挿入するための手動工具です。

■ 仕様

①使用対象材

VP管（VPW管）、HIVP管（HIVPW管）、VU管、ゴム輪継手（ゴム輪受口）、TS継手（接着受口）

②挿入能力

呼寸法	75	100	125	150	200
外径（mm）	89	114	140	165	216
PIS-150	●	●	●	●	×
PIS-200	●	●	●	●	●

■ 各部の名称

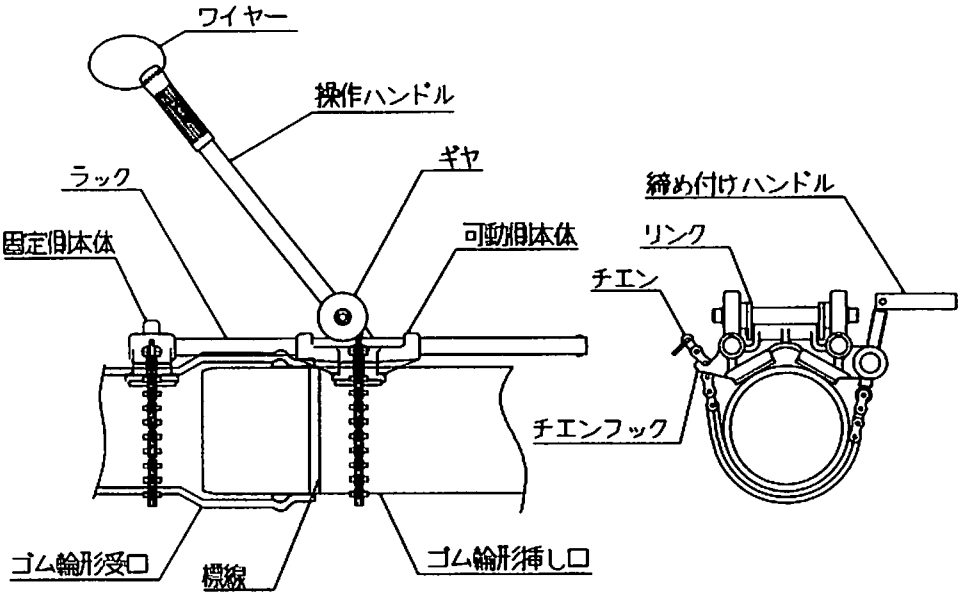


図1

■ 安全上のご注意

⚠ 警告

①この取扱説明書に記載された使用目的、商品ごとの使用範囲でご使用ください。工具を改造したり、仕様を逸脱することはしないでください。挿入機の故障原因となるばかりか、事故を誘発する恐れがあります。
②ギヤ・ラックで手指を挟まないよう十分注意してください。また、挿入操作時にハンドルと固定側本体に手指を挟まないよう十分注意してください。
③保護手袋をして取り扱ってください。

⚠ 注意

①この挿入機はパイプを挿入するための工具です。引き抜き作業ができるのは滑剤・接着剤が乾いていない挿入直後のパイプのみで、即設管の引き抜きや、挿入時間の経過したパイプの引き抜きは絶対にしないでください。
②作業前後には挿入機についた土・砂などの異物をきれいに取り除き、付属のスプレーで注油してください。特にラック・ギヤは付属のブラシで入念に掃除してください。
③操作ハンドルに50kg以上の力を加えないでください。重く挿入しにくい時は再度パイプにセットし直してください。
④挿し口にはパイプメーカー指定の面取りを必ず行い、滑剤・接着剤を必ず塗ってください。
⑤各部のボルトが緩んでいないか点検し、緩んでいれば増し締めをしてください。
⑥運搬は必ず操作ハンドルをワイヤーにて、固定側本体へきちんと固定してから行ってください。

■ 切断作業前に

①日常の点検・メンテナンス

1) 作業前後には挿入機についた土・砂などの異物をきれいに取り除き、付属のスプレーで注油してください。特にラック・ギヤは付属のブラシで入念に掃除してください。
2) 各部のボルトが緩んでいないか点検し、緩んでいれば増し締めをしてください。
3) 点検の結果、各部の破損や異常な摩擦などが見つかった場合は、品名、異常のある箇所などを明確にして、お買い求めの販売店または裏面の連絡先まで修理を御依頼ください。

■ 操作方法

注：操作ハンドルに50kg以上の力を加えないでください。重くて挿入しにくい時は再度パイプにセットし直してください。

注：ギヤ・ラックで手指を挟まないよう十分注意してください。また、保護手袋をして取り扱ってください。

①ゴム輪型

1) 挿し口の面取りを行い、受口と挿し口及びゴム輪と溝部を清掃してください。
2) 受口のゴム輪内面及び挿し口に滑剤を塗布してください。塗布後は土や砂が付かないようにしてください。（図2）
3) 固定側本体を受口の勾配部をさけて10㎜以内にチェンで固定してください。
4) 受口に挿し口を平行に差し込み挿し口の標線より外側に可動側本体をチェンで固定してください。（図3）
5) リンク挿入方向に倒し、操作ハンドルを前後に動かし挿入してください。（図3）
6) パイプを標線まで挿入し、挿入機を取り外してください。

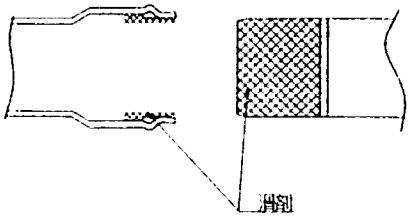


図2

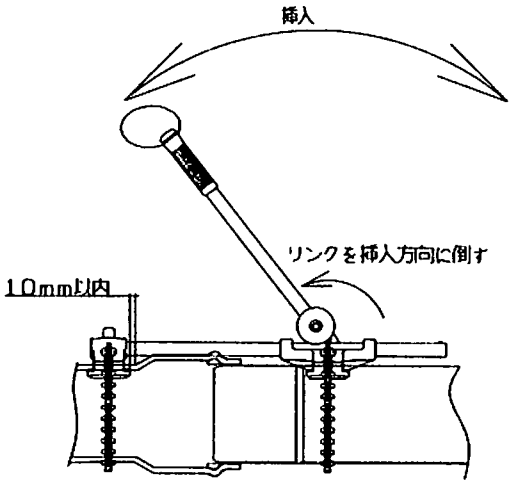


図3

②接着型

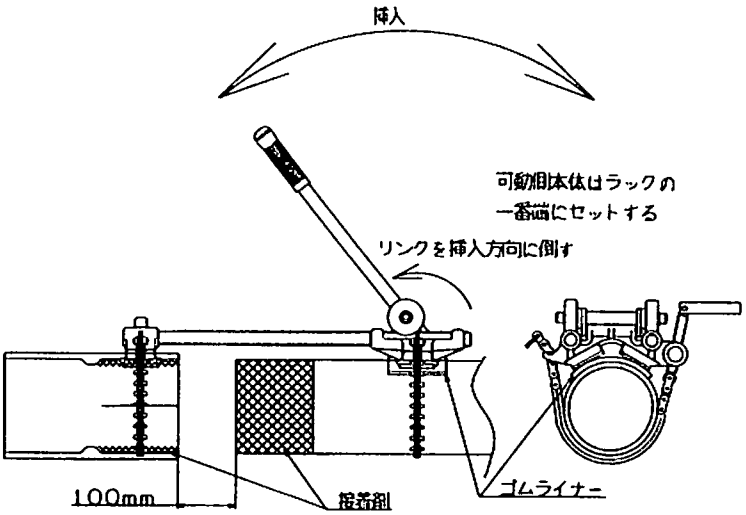
1) 受口内面及び挿し口外面を清掃してください。
2) 管端より接合部受口長さを測り標線を入れてください。
3) 受口と挿し口の間を100㎜程度開け、固定側本体・可動側本体（パイプとの間に付属のゴムライナーををはさんでください）をチェンで固定してください。（図4）

*可動側本体はラックの一番端にセットしてください。

4) 受口内面及び挿し口外面に接着剤を塗りもらしのないよう均一に塗り、挿し口部には標線以上はみ出して塗らないようにしてください。（図4）

注：大口径及び夏季の場合は、遅乾性接着剤を使用してください。（図4）

5) 接着剤塗布後ただちにリンクを挿入方向に倒し、操作ハンドルを前後に動かして標線まで挿入してください。（図4）
6) 挿入後接着剤が乾くまで操作ハンドルを持って保持してください。
7) 接着剤が乾いてから挿入機を取り外してください。



③引き抜き作業

1) 挿入不具合時は、滑剤・接着剤が乾燥しないうちにリンクを引き抜き方向に倒し、操作ハンドルを前後に動かしパイプを引き抜いてください。（図5）

注：引き抜き作業ができるのは滑剤・接着剤が乾いていない挿入直後のパイプのみで、即設管の引き抜きや挿入時間の経過したパイプの引き抜きは絶対にしないでください。

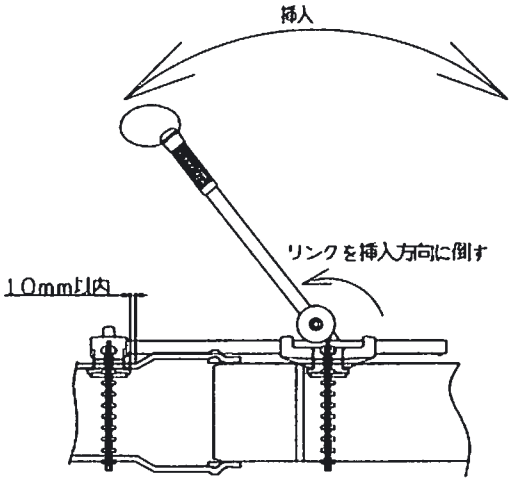


図5

■ 運搬時

操作ハンドルをワイヤーにて、固定側本体に固定してから運搬してください。（図6）

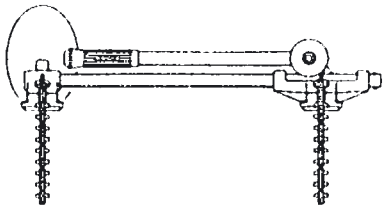


図6

株式会社 MCCコーポレーション

株式会社 松阪鉄工所

☎ (059)234-2454

http://www.mcccorp.co.jp